

温品中学校・上温品小学校より

地域とともにある学校を目指して

温品中学校 校長 佐衛田幸嗣

新しい年が明け、早ひと月。昨年もコロナの感染拡大防止のため、中学校でも多くの行事が中止となったり、延期となりました。職場体験学習や地域での清掃ボランティアなど、子どもたちが地域に出て行く機会も閉ざされてしまいました。しかし、コロナ感染が落ち着きを見せ始めた秋頃から計画を立て、総合的な学習の時間を使って2年生が「地域のSDGsについて調べる」ため、グループに分かれて、地域を回り、地域や事業所の方に「今行っている取組」について聞き取りをさせていただきながら、地域学習を行いました。生徒たちは自分たちの住んでいる地域について、気づかなかったことを発見できたり、今までとは違った視点から地域を理解することができ、生徒たちが意欲的に取り組む学習の場になったと思っています。と同時に、子どもたちの学びの場は学校だけではないということに改めて感じる機会となりました。子どもたちの自己効力感や自己実現力は、多様な人との関わりや承認によって育成されると考えています。ぜひ、地域での活動の場の提供や学校の教育活動への地域の方のご支援など、今後どうぞよろしくお願いいたします。

上温品小学校

子どもの人間形成にとって、集団活動はどうしても必要なことです。とりわけ、異年齢集団による活動は、年齢の高いものが、リーダーシップをとり、年齢の低いものは、年齢の高いものの行動を見て手本とすることで、お互いに成長をしていきます。

本校では毎年、上温っ子集会を実施しています。本年度も12月1日に行いました。1年生から6年生で12、3名のグループを作り、企画委員会の子どもたちが考えたゲームやクイズに挑戦していきます。グループのみんなに優しく説明をする6年生。そんな6年生の話をしっかりと聞く下学年の子どもたち。普段では見ることができない子どもたちの様子が多く見られる時間です。集会を終えた子どもたちの表情はみんな輝いています。

友達の気持ちを考え、思いやりの心をもって活動できる上温っ子をめざし、これからも取り組んでいきます。

上温品3号砂防堰堤の現地見学会

上温品地区には、9つの土石流危険渓流に11基の砂防堰堤の整備が計画されています。そのうち芸芸高校付近の11号砂防堰堤に続き令和3年3月に3号砂防堰堤が完成したので、12月4日に現場見学会が開催されました。大原畳谷町内会を中心に25名の方が参加しました。最初に、国土交通省広島西部山系砂防事務所の川島さんから上温品砂防堰堤の整備計画の概要や3号砂防堰堤の構造・効果などの説明がありました。3号砂防堰堤は堤長36m、堤高10mで、2,300m³の土砂効果量を有しています。その後、参加者から今後の上温品砂防堰堤の建設計画などについて質問があり、2号砂防堰堤が次に建設予定であるとの回答がありました。



3号砂防堰堤を背景に記念写真
(広島西部山系砂防事務所ツイッターより引用)

地域の安全・見守り

防犯カメラ設置

町内2基目

地域活動拠点整備事業として、上温品地域の安全・見守りのための防犯カメラを石原田団地入り口交差点に設置しました。



【石原田入口交差点】



藤三

お好み焼き

あんのん

☎289-0880

〒732-0032 東区上温品一丁目31番11号

FAX 280-1166